

# なるほどガッテン!

## 膝痛Q&A(32)

**Q40** 離断性骨軟骨炎の治療を教えてください。

**A40** 治療は病気の進行度合いや病変部の大きさ、場所などを考慮して決められます。骨軟骨片が遊離していない早期の場合、特に発育期の場合は安静や免荷などで修復が期待できますが、関節鏡を用いて病変部に小さな穴をいくつか掘って出血させ、修復を促進させる手術(ドリリング)をすることもあります。骨軟骨片が遊離してしまった進行期の場合は、遊離した骨軟骨片を吸収性のピンで元の位置に固定したり、大腿骨の他の部位から採取した骨軟骨片を移植する手術(モザイク手術)を行う場合

もあります。病巣が広範囲の場合には、自分の大腿骨の軟骨細胞を培養して増やし移植する手術(自家培養軟骨細胞移植術)も試みられるようになっていきます。

進行期の離断性骨軟骨炎に対してだけでなく、外傷やスポーツ障害による軟骨損傷に対する培養軟骨細胞移植の研究は、現在の整形外科学会において大きなトピックスになっており、多くの研究が実用化されつつあります。話題のiPS細胞を用いた軟骨細胞移植の研究も盛んに行われています。費用などの課題はありますが、我々がこの夢の医療技術の恩恵を受けられる日もそう遠くはないでしょう。



# 整形外科 ふくしまクリニック



### 診療科目

整形外科  
リハビリテーション科  
リウマチ科  
ペインクリニック(痛みの治療)

【休診日】土曜日の午後診、水・日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~12:00	●	●	/	●	●	●
午後診 15:00~18:30	●	●	/	●	●	/

新患・予約外の午後の受付時間: 18時まで



三田市中央町9-36  
TEL.079-564-0300  
<http://www.fukushima-clinic.com>